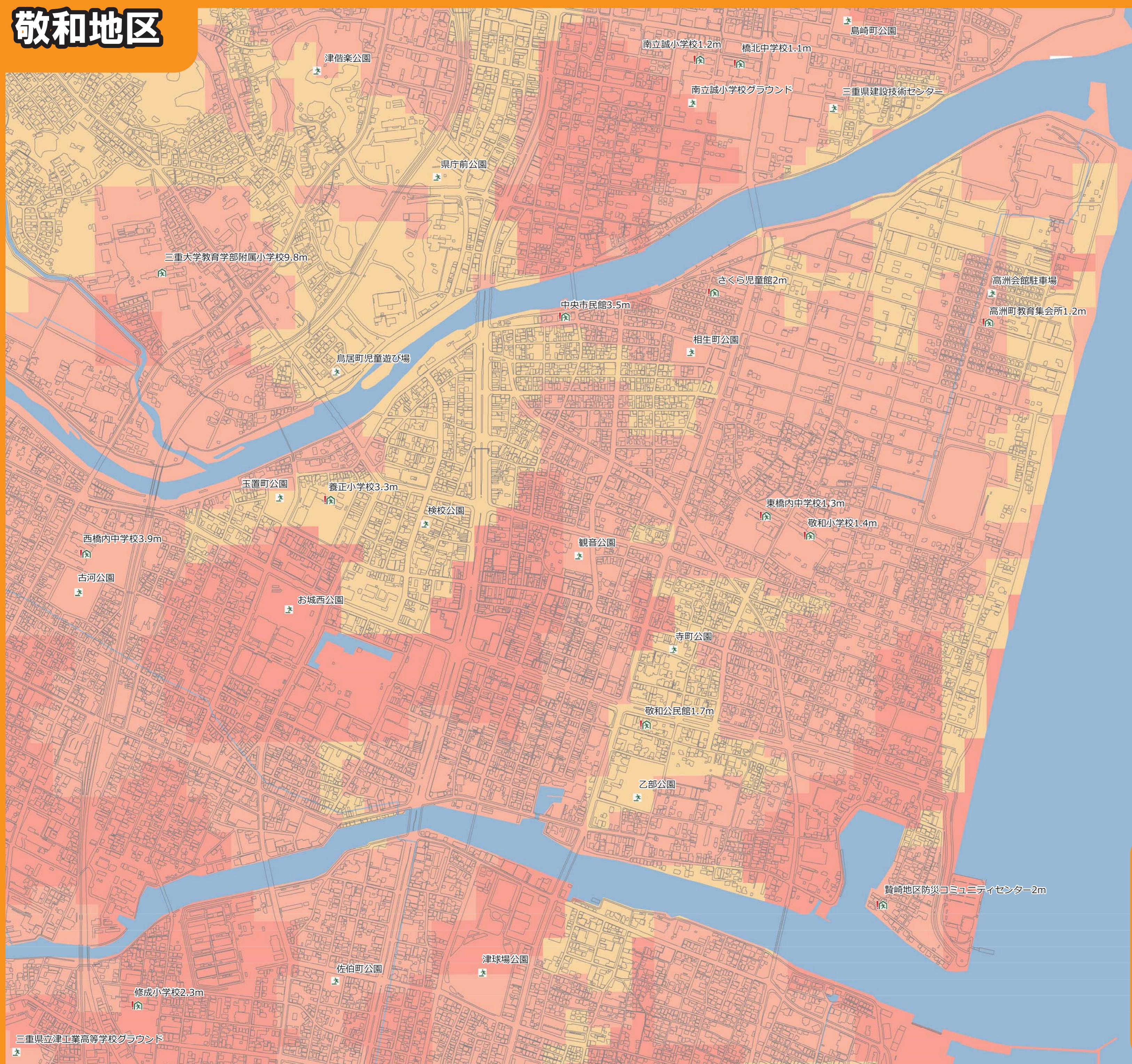
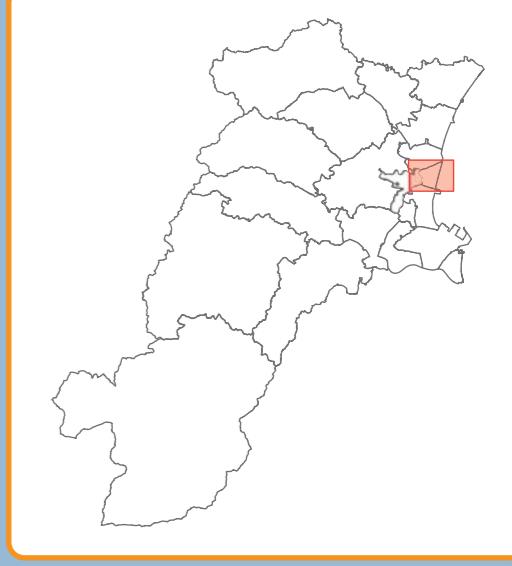


敬和地区



南海トラフ地震発生時の被害想定

想定項目	敬和地区	津地域	津市全域
最大震度	震度 7	震度 7	震度 7
液状化危険度	極めて高い	極めて高い	極めて高い
建物被害全壊棟数	922棟	14,025棟	23,949棟
揺れ	59棟	621棟	741棟
液状化	0棟	33棟	177棟
土砂災害	1,960棟	6,306棟	6,934棟
津波	計	20,986棟	31,801棟
火災被害	3件	40件	62件
総火災件数	199棟	4,128棟	5,378棟
死者数	66人	1,463人	2,118人
負傷者数	273人	5,876人	10,720人
重傷者数	93人	1,508人	2,620人
要救助者数	104人	1,411人	1,430人
避難者数	7,967人	78,338人	103,557人
人命被害	8,023人	159,997人	279,500人
上水道(断水人口)	2,672人	29,118人	32,895人
下水道(支障人口)	3,468軒	57,971軒	120,308軒
電力(停電軒数)	2,939回線	48,554回線	78,679回線
通信(不通回線数)	ガス(障害戸数)	28,020戸	40,737戸
ライフライン支障			

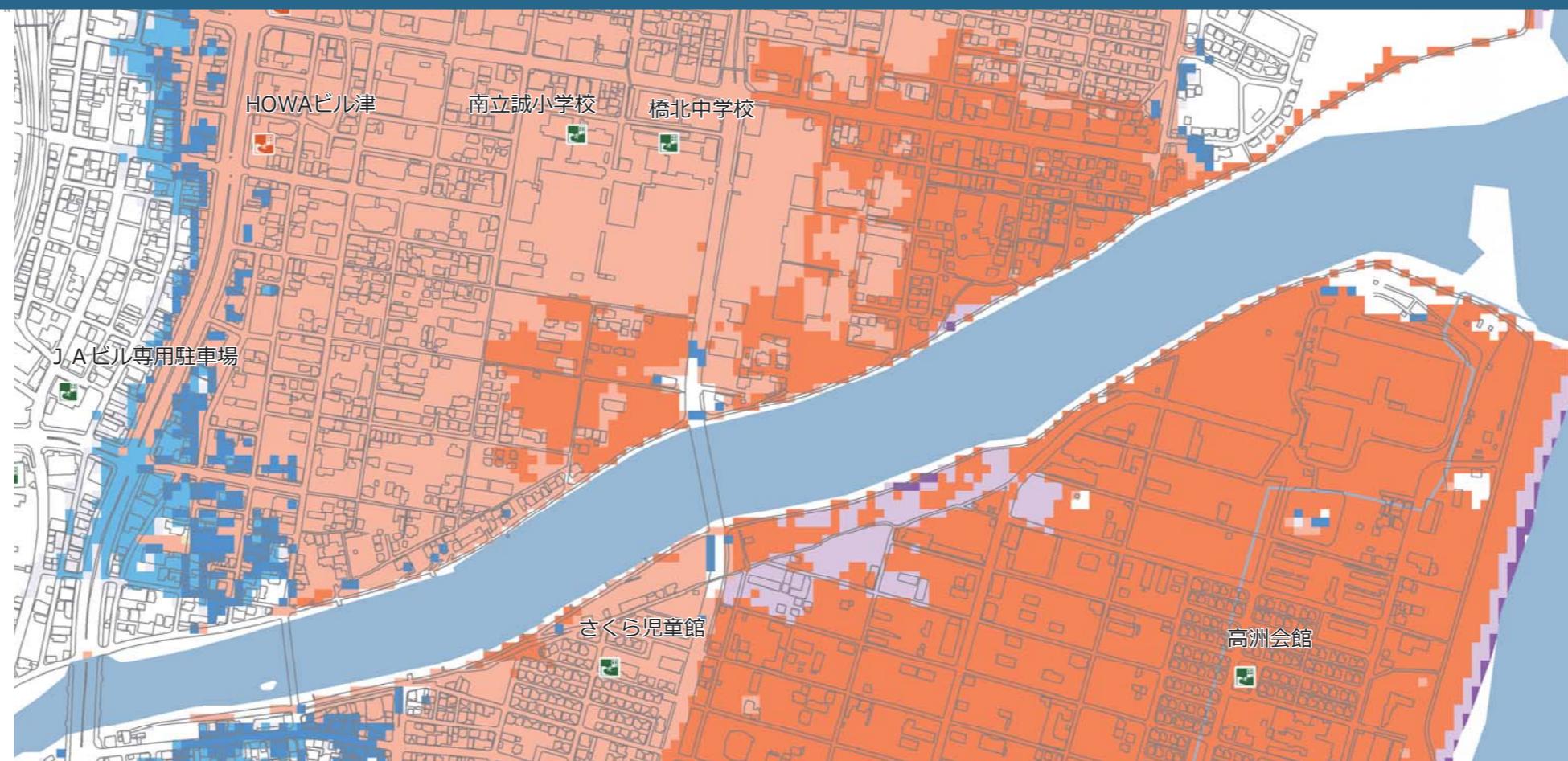
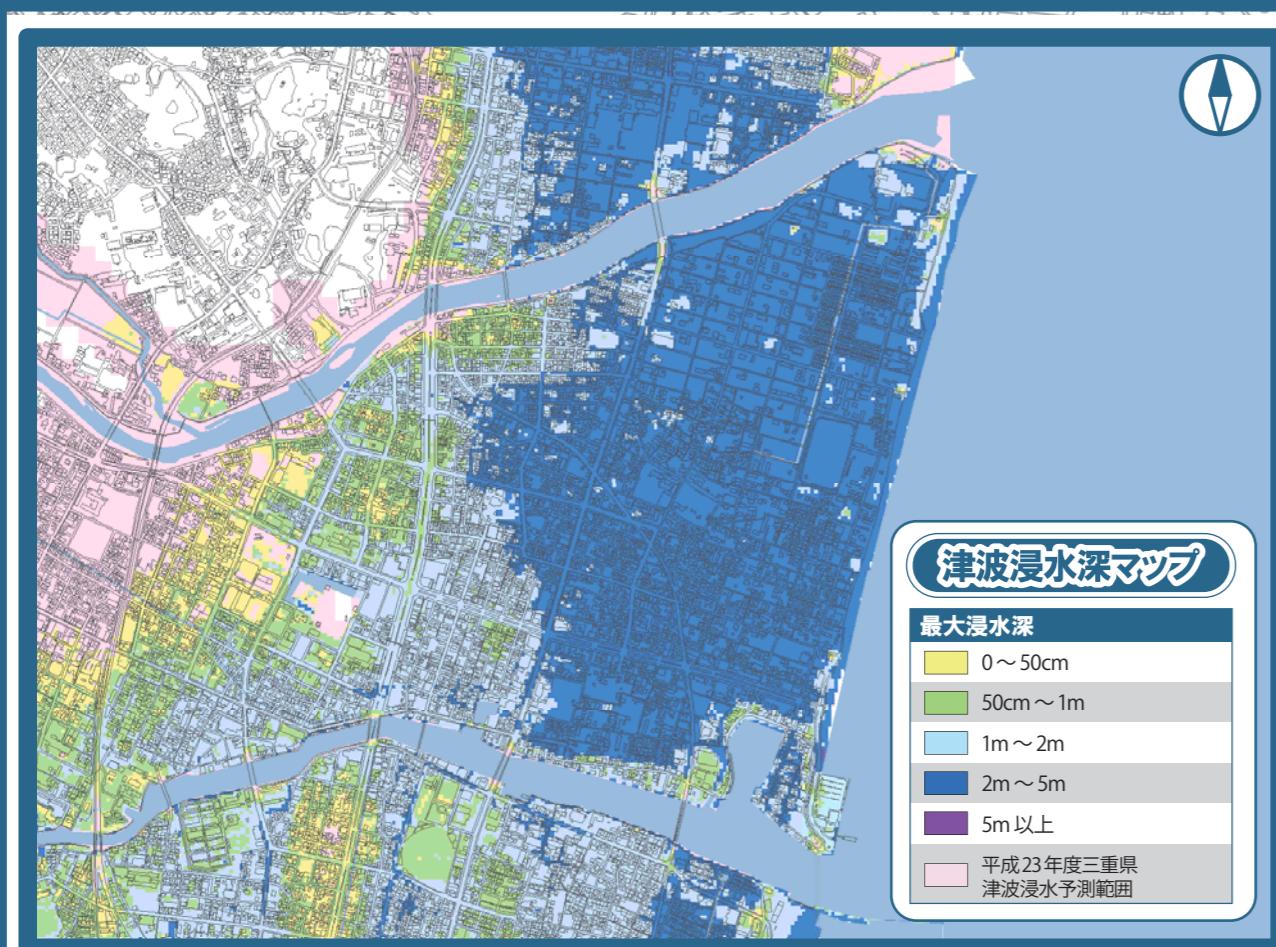


津波浸水深マップ

計測震度
震度 6弱 (5.50-5.74)
震度 6弱 (5.75-5.99)
震度 6強 (6.00-6.24)
震度 6強 (6.25-6.49)
震度 7 (6.50-)

- 一時避難場所 (地震災害)
- 指定避難所
- 津波警報発表時は原則開設しない指定避難所

0 250 500 m



少しでも遠く、高いところに逃げる。

- 「避難は歩きが原則」
家の前の倒木や倒下物などにより、自動車ではスムーズに避難できない場合があります。また、渋滞や交通事故のおそれがあるので、歩いて避難しましょう。
- 「想定にとらわれない」
想定以上の災害が起ることもあります。想定にとらわれすぎ、その他の状況を見極めることができます。
- 「率先して避難する」
勇気を出して率先して避難すれば、その姿をみて周りの人も避難するようになります。多くの人の命を救うことができます。
- 「最善を尽くす」
自分が大丈夫、ここまで来れば大丈夫ではなく、その時できる最善の行動をとしましょう。
- 「地域での協力が大切」
お年寄りの体の不自由な方に声をかけて、一緒に避難など、ご近所で協力しましょう。
- 「河川に近づかない」
海から離れていても、津波は河川を遡ってやってきます。避難するときは、河川から離れる方向に避難をしましょう。
- 「迷い遅れたら、津波避難ビルへ」
迷いつくときに、どうしても迷って避難ができない場合は、「津波避難ビル」または「津波避難協力ビル」に避難してください。

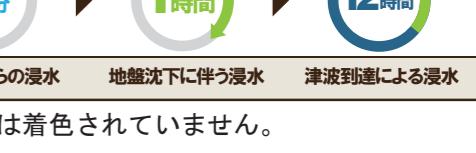
津波浸水時間マップ [30cm津波浸水時間]

浸水深が 30cm に到達する時間
地震発生～5分
6～60分
61～75分
76～90分
91～115分
116～130分
131～145分
146～160分
161～175分
176分～

津波避難ビル
津波避難ビルは、津波から避難する際に、迷い遅れた人などをどうしてまで早くまで避難ができる人いれ少しでも安全な高い場所を確保するためにあらかじめ指定した建物ですか。

津波避難協力ビル
津波避難協力ビルは、津波避難ビルと同様に少しでも安全な高い場所を確保するためあらかじめ指定した建物ですか。所有者や管理者が指定した日及び時間に限り避難できる建物ですか。

時間ごとの浸水の要因 (地震発生→12時間)



※津波の最大浸水深が 30cm 未満の場所は着色されていません。

0 250 500 m

この地図は三重県市町総合事務組合管理者の承認を得て、同組合所管の「2011三重県共有デジタル地図(数値地形図縮尺 1:10,000)」を使用し、調整したものである。(承認番号: 三総合地第58号)